

新型コロナウイルス SARS-CoV-2 感染症 (COVID-19)

甲状腺機能への影響に関する血清学的調査

はじめに

県立加古川医療センター糖尿病・内分泌内科は最新の医療を提供できるよう常に努力しております。また、より優れた診断法や治療法の研究開発など、多種多様な医学研究を行っております。このような研究のためには皆様のご協力をいただき、血液などの検体や診療情報などを使わせていただくことが必要な場合があります。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[\[問い合わせ窓口\]](#)までご連絡ください。

1. 研究概要および利用目的

新型コロナウイルス感染症は現在、世界中で猛威をふるっております。

新型コロナウイルス感染症が甲状腺機能異常を引き起こすことがあり、コロナウイルスが直接甲状腺に影響を与える可能性が示されています。また、甲状腺機能検査が新型コロナウイルス感染症の予後を予測するのに役立つことも推察されていますが、わが国での状況は明らかではありません。新型コロナウイルス感染症が甲状腺機能にどのような影響を与えるのかについての情報はその対策を立てる上で重要な情報となります。そこで 2020 年 3 月以降、新型コロナウイルス感染症で県立加古川医療センターに入院された患者さんから採取された血液を検査し、甲状腺機能に与える影響について研究を実施する事といたしました。

2. 研究期間

この研究は、2020 年 3 月 16 日から 2021 年 12 月 31 日まで行う予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・新型コロナウイルス感染に関して受診された患者さんから採取した血液のうちの残余血清
- ・カルテ番号、生年月日、SARS-CoV-2 感染既往歴の有無

4. 研究機関

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。

兵庫県立加古川医療センター (研究責任者：飯田 啓二)

5. 外部への試料・情報の提供

試料及び情報は、研究責任者が施設の規定に従って適切に管理を行います。外部への提供は行いません。

6. 個人情報の管理方法

ご提供いただきました試料・情報は、兵庫県立加古川医療センター糖尿病・内分泌内科がこの研究に用いる前に氏名などが分からないように番号をつけて管理します。

7. 試料・情報等の保存・管理責任者

この研究の試料や情報を保存・管理する責任者は以下のとおりです。

兵庫県立加古川医療センター 糖尿病・内分泌内科 中村 幸子

8. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究に試料をご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益・・・既に採取された血液の利用のみであり、遺伝情報の解析を行わないため、特にありません。

9. 研究終了後のデータの取り扱いについて

血液などの試料は、研究終了後から原則として 5 年間は厳重に保管されますが、その後は密封容器に廃棄あるいは焼却処分します。また、カルテから抽出された診療データ等はシュレツダーにかけたり、ファイルを削除し、完全に廃棄します。

10. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

11. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合もあります。

12. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

兵庫県立加古川医療センター 糖尿病・内分泌内科

担当者: 中村 幸子

住所: 〒675-8555 兵庫県加古川市神野町神野 203

電話: 079-497-7000

研究代表者:

兵庫県立加古川医療センター 糖尿病・内分泌内科 飯田 啓二